

# 築人 KIZUKU

広報誌

1

No.655

2019 January



2019年度スローガン

## 継往開来

～礼を尽くし、笑顔溢れる未来を切り拓く～

JCI  TM  
Junior Chamber International Mizusawa

公益社団法人 水沢青年会議所

# 継往開来

～礼を尽くし、笑顔溢れる未来を切り拓く～



## 新年のごあいさつ

公益社団法人水沢青年会議所 千葉 恭義  
2019年度 第57代理事長

新年明けましておめでとうございます。2019年の新年をお慶び申し上げますとともに、水沢青年会議所第57代理事長として、謹んで新年のご挨拶申し上げます。

昨年は千葉俊哉理事長のもと「ATTACK CHANCE! 時代の先駆者として機会を活かそう!」をスローガンに掲げ、明るい豊かな社会の実現に向け各事業を展開してまいりました。また、岩手ブロック協議会会長阿部由起男君をはじめとする多くの出向者を輩出し、会員一丸となって東北地区協議会、岩手ブロック協議会を盛り上げてまいりました。一年を通して、OB諸先輩や市民の皆様には、多くのご支援とご協力を賜りました。厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

平成の時代が終わり、新しい時代の幕開けとなる本年、我々が住まう胆江地区においても大きなグローバル化の中、社会の均質化の波に晒され、人口減少、少子高齢化の加速、地域医療、地域コミュニティの衰退など、解決すべき問題は山積しております。しかし我々は現状をしっかりと受け止め、高い志をもって、変革の能動者である青年会議所会員として、青年経済人として、地域のリーダーとして、関わる全ての方に礼を尽くし、大局観を具え、今やるべきことを見極め、率先して行動していかなくてはなりません。社会情勢が大きく変化する中、その時々時代のニーズに応じた幾多の素晴らしい運動を英知と勇気と情熱をもって展開され、この地域の礎を築いてこられた諸先輩方に深く敬意を表し、見返りを求めず行動する「利他の精神」、そして「個人の修練・社会への奉仕・世界との友情」の三信条を胸に刻み、時代の先駆者であった諸先輩方のその熱い想いと行動力を受け継ぎ、これから

も着実に歩み続け、次世代に繋げていかなければならないと感じております。

【2019年度スローガン】継往開来（けいおうかいらい）～礼を尽くし、笑顔溢れる未来を切り開く～とさせていただきます。我々が最も大切にしなければならない事は何か。「志」を引き継ぎ、笑顔で未来を切り開いていくことであります。笑顔は計り知れない力を秘めており、緊張を緩和し、親密さを生み出すばかりでなく、笑顔が笑顔を生み、幸せを連鎖させ、不安や困難を乗り越える力を与えてくれます。我々の未来に繋がる確かな運動が、笑顔と共に地域に広がり、共感を呼び起こすのです。「明るい豊かな社会の実現」を理念に掲げ、連綿と時代を築き上げてこられた先輩方に敬意を表し、青年会議所運動が出来ることに感謝しながら、多面的・複眼的に物事の本質を捉え、目先の事だけではなく長期で先を見通し、この胆江地区の明るい未来を笑顔と共に切り開いてまいります。

地域にとって持続可能な解決策の一步となる一年になってほしい。

会にとって未来に繋がる一年になってほしい。

会員にとって一生を変える一年になってほしい。

水沢青年会議所のためにご尽力いただいた諸先輩方、携わっていただいたすべての皆様に感謝の気持ちを常に持ち、大切な仲間と共に「笑顔」でいっぱいの日を送れるよう、志を高く、地域、会、会員の為に全力で青年会議所運動をしてまいります。どうぞこれまでと変わらぬ、ご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

結びに、関係諸各位の皆様方の益々のご繁栄とご健勝を心より祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

# 年頭あいさつ



奥州市長  
小沢 昌記

平成31年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

水沢青年会議所の皆様には、常に地域の発展を願い、積極的にまちづくり活動に取り組まれ、奥州市の活性化に多大なるご貢献をいただいておりますことに、衷心より感謝と敬意を表します。皆さまにはインディアン旗野球大会の開催などひとりひとりへの活動にも積極的に取り組んでいただき、重ねて感謝申し上げます。体験を通じた地域との触れ合いにより育まれた郷土愛が、まちづくりの礎となり、奥州市の未来の大きな力になると確信しております。

昨年を振り返りますと、スポーツの分野において、大谷翔平選手が、アメリカ大リーグで新人王を受賞するという明るい話題が届けられました。大谷選手の活躍は、市民に多くの夢と希望を与え、それが市民の活力へとつながっています。官民協働で設置した「大谷翔平選手ふるさと応援団」の活動を通して、今後もふるさとから応援の声を届けてまいります。

けてまいります。

さて、今年、市の第2次総合計画に掲げる2つの戦略プロジェクトは節目の年を迎えることとなります。I・L・Cプロジェクトについては、今後の政府判断が待たれるところですが、動向を注視しながら、引き続き積極的な誘致に努めてまいります。人ロプロジェクトの推進については、新たな計画策定の時期となりますが、より実効性のある計画を目指して検討を進めてまいります。

皆様におかれましては、各界との交流や研修を通じてより一層自己研鑽を積み、その組織力と機動力をさらに発揮いただき、奥州市の発展、活性化のためにご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、水沢青年会議所の益々のご発展と、千葉新理事長をはじめ、会員皆様にとりまして、本年が明るく希望に満ちた一年になりますことをご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。



奥州商工会議所 会頭  
海鋒 守

新年あけましておめでとうございます。

2019年の新春を迎え、公益社団法人水沢青年会議所の皆様のご健勝とご繁栄を謹んでお慶び申し上げます。

さて、昨年は日経平均株価が23,000円を超える高値での取引開始でありましたが、年末には20,000円台を割る水準になるなど、回復基調にあるといわれておりました日本経済も力強い回復傾向を示すまでには至らない状況でありました。首都圏ではオリンピックや旺盛な民間投資などもあり、好況を呈しておりますが、地方では停滞感がみられるなど、格差の拡大が顕著に表れた1年でありました。そのような中、当地出身のメジャーリーガー大谷翔平選手の活躍は、多くの人々に元氣と感動を与えていただけでなく、奥州市の知名度の向上に大きな力を発揮いただきました。更なる活躍と飛躍を期待するものです。

貴所におかれましては、サマーチャレンジ事業

やインディアン旗野球大会の開催など青少年の育成事業に精力的に取り組まれるとともに、自己啓発や地域振興につながるセミナーなどを開催され、地域の人材育成と、地域活性化の第一線で事業展開を図られております。

奥州市の持続的発展のためには、後世に夢と希望が持て、活力ある地域を構築していくことが挙げられます。本年、貴所は「継往開来～礼を尽くし、笑顔溢れる未来を切り開く～」の旗印のもと、千葉恭義理事長を中心にまちづくり、青少年育成、賑わいの創出事業など、多角的な事業に取り組まれると伺っており、その実践力を大いに期待いたしております。

結びになりますが、本年が皆様にとりまして、幸多く、輝かしい年になりますとともに、貴青年会議所の更なるご発展を心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。



OB会長  
立野 晃

平成31年を迎え新年のお慶びを申し上げます。昨年は「ATTACK CHANCE」千葉俊哉理事長スローガンのもと活動されました。また阿部由起男君が東北地区岩手ブロック協議会の会長を務めました。各会員の皆さんお疲れ様でした。

さて今年新しい年号（元号）に変わります。「大化」から「平成」まで247年号です。昭和63年消費税が導入、バブル崩壊、阪神淡路大震災、オウム事件、野茂メジャー移籍、アメリカ同時多発テロ、北朝鮮より拉致被害者帰国、郵政民営化、AKB48デビュー、IPS細胞、iPhone「スマホ革命」、民主党政権、東日本大震災、アベノミクス、SMAP解散、「生前退位」退位特例法成立、そして昨年は森・加計問題、カジノ法成立、大阪・北海道地震等がありました。感慨深い事件事故も数多くあったと思います。水沢青年会議所においては、大先輩から受け継がれてきたメインテーマ【胆江はひとつ】そして新幹線駅誘致運動で大いに盛り上がったと聞いております。一

区切りがついた今、温故知新（過去の事柄を研究し、新しい知識や見解を得る事）をする時期ではないでしょうか。

青年会議所は、毎年組織が変わります。今年は「亥年」第57代千葉恭義理事長のもと新たに出発されたと思います。今は暗中模索、五里霧中かと思えます。言葉は悪いですがよそ者、馬鹿者あるいはプロフェッショナルの行動や話を見聞きし、よし悪しを判断し時には反面教師として既成概念にとらわれることなく今しかできないことに挑戦する事が十年後、二十年後の青年会議所にそして自分自身に帰って来ると思っています。周りの人達もフォローする。協力して体制を整えそして絆を深める。決して立ち止まることなく困難と思う方向へ進む。やり切った時、きっと達成感は倍増します。足なみをそろえて 行こうじゃないか。ひとりで見える夢は夢でしかない。みんなで見る夢は現実となる。

# 2019年度

## まちづくり委員会



〈委員長〉  
高橋健太郎  
文秀堂(株)



〈副委員長〉  
及川 順也  
岩手銘醸(株)

### 委員

- 小原 祥太 (やきとり一心)  
佐々木美佳 (創作ダイニングカフェココベリ)  
阿部 崇彦 (キッチンアンドウ)  
高橋 梨奈 (㈱高橋総合設備)

あけましておめでとうございます。

2019年度まちづくり委員会の委員長を務めさせていただくことになりました高橋健太郎と申します。

当委員会では、まちづくりという視点から地域をみつめ、事業を行っていきます。これまでの先輩方の活動により、作り上げた経験やネットワーク、また、関係団体と築いてきた大きな信頼があります。こうした環境で、一から事業を作り、現役会員はじめ多くの方の協力のもと実施できる機会をいただき、感謝するとともに、大変気が引き締まる思いでおります。

事業では、地域の人たちが自分たちの魅力に対し理解を深めることで、奥州市を生涯住みたいまちと胸を張っていえるようなきっかけづくりをしていきたいと思っております。

今年一年と短い期間ですが、委員会一丸となり、邁進してまいります。よろしくお願いいたします。

## ひとづくり委員会



〈委員長〉  
千田 長  
㈱グッドウイン盛岡支社  
北上サテライトオフィス



〈副委員長〉  
伊藤 京介  
㈱東海保険センター

### 委員

- 千田 正太 (㈱太田建設)  
菊池 千都 (㈱東邦)  
佐藤 修一 (氏家公認会計士税理士事務所)

あけましておめでとうございます。2019年度ひとづくり委員会の委員長を務めさせていただく事となりました、千田 長と申します。この度、このような機会を与えていただき、成長のチャンスと捉え全力で取り組んでいきたいと思っております。

さて、成長という言葉を使いましたが、私達ひとづくり委員会は子ども達の成長の一つのキッカケを与えることの出来る委員会だと思っております。今後の奥州市を担う子ども達がノビノビとたくさんの好奇心と探究心、時には苦しく辛い体験をして将来の成長の糧

にしてもらいたい、そんな思いで手助けになればいいなあという気持ちでおります。

こども達の成長とともに私達も一緒に成長していけるそんな委員会にして盛り上げたいと思っておりますので19年度ひとづくり委員会をどうぞよろしくお願いいたします！

# 委員会紹介

## 総務広報委員会



〈委員長〉  
千葉光一郎  
（株）北斗



〈副委員長〉  
千葉 祐輝  
読売センター前沢

### 委員

佐藤 一久（日産プリンス岩手販売株）  
沼倉 由依（アルファケー・（有）ロマンス）  
小林 昭彦（有）小林佐平商店

明けましておめでとうございます。2019年度総務広報委員会の委員長を務めさせていただきます千葉光一郎と申します。

水沢青年会議所は、地域に住暮らす人々に認知され共感を得られる組織とならなければならないのは言うまでもなく、市民の方やOB先輩、志を同じうする各地青年会議所メンバーの皆様による多くのご協力によって成り立っております。この事に対する感謝の気持ち、また今後ますますのご協力をお願いをする為、多様化する情報取得手段に合わせ戦略的に理念や活動を

広報する必要がある、効果的な情報発信は我々水沢青年会議所の運動を広めることに繋がります。今年度の総務広報委員会では、青年会議所運動を広める積極的かつ効果的な情報発信を基本方針に掲げ、委員メンバー全員で一生懸命取り組んでまいります。

また、これからの組織を担う新入会員のフォローや会員拡大に全力を注ぎます。

広報として情報発信に努め、地域の為の運動や活動を展開していきますので何卒今年一年間どうぞよろしく願いいたします。

## 財政・コンプラ・会員拡大特別室



〈副理事長兼室長〉  
高橋 幸博  
水沢ツーリストサービス株



〈副室長〉  
黒沢 健典  
黒沢建設株

### 委員

千葉 正彦（水沢信用金庫）  
佐藤 修一（氏家公認会計士税理士事務所）

新年おめでとうございます。今年度、財政・コンプラ・会員拡大特別室では、公益法人への移行から8年目を迎えた今年、公益法人として求められる運営を確実に行うため、以下のことを実施します。

まずは健全な財務管理の徹底、法令を遵守した事業の計画実施、公益目的事業の妥当性の検証を目的とした財政・コンプライアンス審査会議を毎月実施します。また、公益法人としての組織運営について現状に即した内容とするため定款および規定を見直し、必要であれば修正を行います。そして組織運営の安定化を図る

ため運営についての実務マニュアルを作成します。さらに、特別室としてもうひとつの大きな役割が会員拡大であり、会員の減少に歯止めをかけ、確実に会員拡大を成功させるために効果的な拡大の手法をマニュアル化し、メンバー間で共有することによりメンバー全員で会員拡大を行います。

室として対外的な事業は行いませんが、会が今まで以上に地域に必要とされる存在となるため、組織面から会を支えて参りますので、1年間どうぞよろしくお願い致します。

## 出向者紹介

### 公益社団法人 日本青年会議所 東北地区協議会

東北ゼミナール委員会 委員 黒 沢 健 典  
LOM支援委員会 委員 伊 藤 京 介

### 公益社団法人 日本青年会議所 東北地区 岩手ブロック協議会

LOM支援委員会 副会長 千 葉 俊 哉  
委員 相 津 恒 輔  
連携推進委員会 副委員長 佐 藤 陸  
事務局次長 千 葉 祐 輝

### いわてJAYCEEアカデミー委員会

塾生 佐 藤 修 一 塾生 高 橋 健太郎  
塾生 柴 田 征 弥 塾生 伊 藤 京 介  
塾生 小 林 昭 彦

## Next event Schedule

### 〈今後のスケジュール〉

#### 1月 〈January〉

11日(金)  
1月定時総会並びに新年初顔合わせ  
会場：水沢グランドホテル

17日(木) ~20日(日)  
(公社) 日本青年会議所 京都会議



#### 2月 〈February〉

3日(日)  
岩手ブロック協議会新春のつどい

15日(金) ~17日(日)  
(公社) 日本青年会議所 金沢会議

## 編集後記

あけましておめでとうございます。  
今年の正月は日取りが良く皆様ゆっ  
くりお休み出来たのではないでしょ  
うか？

今年の築くはより広報誌として市  
民の皆様へ水沢青年会議所の活動を  
より広めていけるように頑張ってい  
きたいと思っております。またホー  
ムページやFacebookも徐々に密度を  
高めていきたいと思っておりますの  
で委員の皆様頑張って行きましょう。  
一年間よろしくお願ひします。

副理事長  
佐々木 翔

表紙 2019年度 常任理事  
写真 「水沢江刺駅JCI日時計前にて」

## 会 員 募 集

### 水沢青年会議所の 仲間に入りませんか？

地域の青年のみなさん！他業種の、それも同年代の  
人々と幅広く勉強し、一緒に行動し、そして友情の  
輪を広げてみませんか？そうした事の出来る団体  
が、青年会議所です。40歳までをどう過ごすか、共  
に考え活動していきましょう！

修練・奉仕・友情を信条とし、  
よりよい社会づくりを目指す。

青年会議所は大きな可能性に向けての自己投資です

みなさまのご意見・ご感想をお待ちしております！

〒023-0818 奥州市水沢東町4 (水沢商工会館3F) TEL 0197-24-2641 FAX 0197-22-6421  
ホームページ http://www.229jc.jp E-mail : room@229jc.jp